

様式第1号

遠藤集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成22年 7月 2日

修正日：平成22年10月 1日

市町村名	伯耆町	組織名	農事組合法人伯耆の郷
1 地区の範囲 西伯郡伯耆町遠藤地区			
2 地区の概要			
水田面積	24.77ha		
主な水田栽培作物	水稻、飼料米		
農家数	3.6 戸		
認定農業者数	経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・設立時期（規約等の制定日）【平成22年3月2日】			
	組織形態（該当形態に○）	加入農家数	
【現状】前年度実績 （年度）	○ 未組織 ・ 共同利用型 ・ 作業受託型 ・ 協業経営型	戸	
【目標】事業開始翌年度 （23年度）	・ 共同利用型 ○ 協業経営型 ・ 作業受託型	2.8戸	
4 集積率（機械の共同利用と作業受託）の目標			
項 目	【現状】	【目標】	
集 積 面 積 ①	ha	14.997ha	
うち作業受託 ②	ha	10.855ha	
対象水田面積 A	ha	20.248ha	
集 積 率 ①/A	%	※③	74.07%
うち作業受託 ②/A	%	※④	53.61%
注1) ※③の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。 2) ※④の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

1. 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

遠藤集落は伯耆町の北部に位置し、米子市に隣接したほぼ平坦な地形の水稲栽培を中心とする集落で、ほとんどの農家が兼業農家である。

近年、農業者の高齢化が進み、耕作放棄地が発生し始め、農地売却も散見される。

平成18年に「集落営農検討委員会」を設立し、集落営農の検討を始めた。

その結果、集落の農業の活性化を目指して、平成22年3月、組合員28戸の出資により、「農事組合法人伯耆の郷」を設立した。

今後は組合員の農作業の軽減及び農業経費の削減を図り、高齢化に伴う耕作放棄地の発生の抑制及び既存の耕作放棄地の解消をしていく。

平成23年度の本組合の利用権設定面積は6.116ha、作業受託面積は5.518haを受託しているが平成26年度には利用権設定面積及び作業受託面積合を75%以上に引き上げる事を目標にする。

そのため、営農施設、耕作機械の整備を図り、効率化、省力化を推進していく必要がある。

2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策

水稲については、コシヒカリが栽培面積の大半を占めているが、作業の分散化の観点から、複数品種の作付けを図っていく。

減反圃場では、大豆、野菜などが中心であるが、今後においては、ブロックローテーションにより、飼料稲を中心に白ネギ、大豆、野菜、花卉等を効率的に栽培し、収入の増大を図っていく。

そのためには、JA及び伯耆町農業振興公社との連携を図りながら産地化を推進していく。

3 農業用機械施設の効率利用

平成22年度中に格納庫兼共同作業場、組合事務所を設置する事により、下記の農機の格納、共同利用、組合事務作業の効率化及び作業受託の推進を図り、高齢化等により耕作ができない農業者の受け皿として、その中核をなすため法人耕作面積及び作業受託の拡大と効率化を図る。

コンバイン：耕作面積の増加、作業受託量の拡大に対する対策。

初乾燥機・初摺機・乾燥機：組合員の利便性の向上と米の直販体制確立に対する対策。

格納庫兼共同作業場：上記の農機を格納する他に乾燥・初摺作業を行う。なお、収穫期の乾燥・初摺は作業が集中し、初袋・玄米・袋詰め作業のスペースを確保する必要がある。農機は農閑期に集中整備を行い、耐久性を高め長年の稼働を目指し、コスト低減を図る。

組合事務所：効率的な作業計画などの立案、作業の打合せ・調整、総務・経理事務のための場として活用する。

集団営農の効果を高めるためには、機械設備・営農施設の集約を推進し、個々の組合員の負担を軽減し、農業所得および生産意欲の向上を図る事が重要である。トラクター、田植機等は当面、個々の組合員所有のものを利用するが、それらの耐用年数の経過に伴い、組織購入を視野に入れ、個々の組合員の費用軽減を図る。

Ⅱ 農業用機械施設の整備方針

1 本事業で導入する機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月
コンバイン	4条刈り47PS	1	7,500,000	平成23年9月
籾乾燥設備	30石	1	4,714,500	平成22年10月
精米設備	240kg/時	1	4,308,885	平成22年10月
玄米保冷設備	256袋	1	892,500	平成22年10月